

平成30年度 特色ある教育活動の推進計画

1 特色ある学校づくり推進計画

(1) テーマ

確かな学力と豊かな心及び健やかな体の育成にむけた教育活動の創造

(2) 目的

- 思考力・判断力・表現力等を育成する学習活動の創造に向けた教科教育研究推進
- 小中一貫教育（保小・小小・小中連携教育）の推進
- 地域体験学習活動の推進
- 特別支援教育の推進

(3) 内容

- 主体的な思考力・判断力・表現力等を育成する学習活動の創造に向けた教育研究推進
主体的な思考・判断・表現力を育成するために、算数科の授業改善を図り、つながり、響きあう授業の構築をととして「かわちのまなび」授業モデルの確立をめざす。
特に、目的に応じて論理的に「かき、伝え合う」活動を通して、児童の主体的な力や共感力の育成を図る。
- 小中一貫教育の推進において、小・中3校が授業研究を通して、学習規律・学習習慣の確立を図るとともに、9年間を通して学びのモデルづくりに取り組む。
- 体験的学習として、地域の「ひと・もの・こと」や伝統文化を、生活科・総合的な学習の時間を中心とした学習活動及び学校行事に取り入れた学習活動を推進する。
- 特別な支援を必要とする児童に対して、学習意欲を喚起する手立てを明らかにしながら実践を積み重ねていく。

(4) 計画

- 「算数科」等の授業改善により、児童の実態・発達段階に応じた指導を構築する。
 - ① 課題発見・解決学習を含む教材開発、指導方法の工夫・改善
 - ② 授業研究及び理論研修の実施
- 小中一貫教育の研究テーマに沿った、思考・判断・表現力を育成する授業づくりを進める。
 - ① 外部講師を招聘しての理論及び授業研究
 - ② 川地中学校区合同公開研究会の開催
 - ③ 研究成果の発信（年3回）
- 小中一貫教育（保小連携・小小連携を含む）を推進する。
 - ① 合同職員研修等の開催及び児童と保育園児・生徒との交流学习の推進
 - ② 3機関（保・小・中）の共同による生活リズム定着に向けた取組やオリジナル・カリキュラム（9年間の学びのモデル）及びコアカリキュラムを中心とした一貫教育の推進
- 地域の「ひと・もの・こと」や伝統的な文化の継承を学習活動に取り入れた教育活動を推進する。
 - ① 各学年の生活科・総合的な学習の時間のテーマにそって、地域の「ひと・もの・こと」を取り入れた体験的学習活動の実施。
 - ② 学校行事や学習活動への体験的学習活動を効果的に取り入れる。
宿泊体験活動の実施・社会見学の実施・地域行事への参加

(5) 期待される成果

- 次の取組により、主体的に学ぶ児童の育成を図ることができる。
 - ① 算数科を中心に、目的に応じて論理的に「かく・伝え合う」活動を通して、友達とつながりながら主体的に課題解決を図ることができる。
 - ② 全ての教科（道徳科を含む）・領域等の充実を図り、地域の特色や児童の実態、発達の段階に応じた指導法の構築を図り、児童の自己肯定感を高め、共感しつながりあう力の育成。
 - ③ 川地中学校区の小中一貫教育における研究主題を「主体的な思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり」とし、合同授業研修を中心とした指導方法の工夫・改善を中心とした実践的研究を3校で進める。この研究によって、思考力・判断力・表現力を育成す

ることができる。このことにより、9年間の学びのモデルを確立する。

- 小中一貫教育の推進により、幼児期を基盤にしながら小中の9年間に於いて基本的な生活習慣の定着や、計画的・継続的に教科指導や生徒指導を行い、確かな学力や豊かな心を養うことができる。
- 体験的学習活動を通して、地域の「ひと・もの・こと」を学習へ取り入れ、地域に出かけ地域の人との交流を図ることで、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」など、キャリア発達を促すことができる。また、日常では体験・見聞できないことや自然にふれながら学習したり伝統文化に触れたりする体験をすることで、感性を豊かにすることができる。

2 特色ある教育活動推進計画

(1) 心の力を育てる

- 自分を大切に、人も大切に、共に生きる（人権教育の理念に基づいた教育活動）
- 自己肯定感の向上
- 自分で考えた言葉で話す力

(2) 基礎・基本の学力の向上

- 読書活動の充実（毎朝の読書タイム・火曜日ロング読書タイム・読み聞かせ）
- ドリルタイム・ぐんぐんタイム
- 放課後個別指導（計画的に、家庭との連携を密に）
- 家庭学習（自主学習）の充実（基本的生活習慣・元気を育てる生活づくりの確立）
- 学習規律（自主学習の定着）

(3) 体力づくり

- 休憩時間の遊び
- 姿勢 → 立腰・体幹 鉛筆の持ち方
- 縄跳び（縄跳び検定）・持久走（3分間ランニング）・体育授業前のセット運動
- 食育の充実

(4) 人間関係形成・社会形成能力（キャリア発達）

- あいさつ（明るく・いつも・さきに・つづけて挨拶）
- 全校縦割り班活動（児童集会）
- 異学年交流活動
- 今月の「きらきら」「名人」（見取り）⇒評価
- コミュニケーション力の育成
- 地域の教育力に依拠した学習展開（生活科・総合的な学習の時間）

(5) 豊かな感性

- 響く歌声（音楽朝会・全校合唱・合同合唱）
- 和文化体験（俳句教室・お茶作法）
- 芸術鑑賞
- イングリッシュデー・イングリッシュキャンプ（外国文化との出会い）

(6) 思考力・判断力・表現力の育成

- 教科研究推進⇒算数科を中心とした授業工夫・改善
- 三次版授業モデル、かわちのまなび（川地小版授業モデル）
- ノート指導の充実（川地小版ノートモデル）→ノート交流
- 目的に応じた「かく」力の育成（日常的に書き馴れる・日記、メモ）

(7) 基本的生活習慣の確立（保育所・中学校と連携して）

- パワーアップ週間
- 3快プラン（学区での連携した取組）
- 家庭読書（ノーメディアデー）

(8) 小中一貫教育の推進

- 合同ボランティア活動
- イングリッシュデー・リトルティーチャー（外国語科・外国語活動）・イングリッシュキャンプ